

ユニオンショック

2023年3月 308号
よこはまシティユニオン

横浜市鶴見区豊岡町 20-9-505 TEL&FAX045-575-1948
E-mail yuniyoko@d2.dion.ne.jp
ホームページ http://yuniyoko.sakura.ne.jp
組合費納入 横浜銀行 鶴見西口支店 普 1309777
郵便振替 00230-4-30435 よこはまシティユニオン



3月11日午後、全造船関係東地協労組と共催で春闘学習会を開催、26名が参加しました。

3/11

ドキュメンタリー映画「ここから」を鑑賞

春闘学習会 港町診療所2階会議室

長年にわたる凄まじい刑事弾圧に屈せず闘い続ける関西生コン組合員たちのドキュメンタリー映画を鑑賞。「励まされた」「女性組合員は強い」「勇気づけられた」「組合の大切さ・家族の支え・行動の重みを感じた」「仲間がいる限りまだやれる!」「ここからだ!」などの感想が寄せられました。その後、春闘交流会として各分会・ユニオンが活動報告を行いました。

2/18

第4回女子会 9名参加

歩いた話した笑ったべた



集合した瞬間からおしゃべりと笑い声が縦横無尽に飛び交うのが、女子会。天気にも恵まれ、脱いだコート片手に小島新田駅から川沿いを歩き、多摩川スカイブリッジを渡って海を眺め、羽田イノベーションシティで青空を眺めながら足湯につかり【写真】、穴守稲荷神社で大きなお狐様に驚きながら癒しを願いました。その後、蒲田駅そばの中華料理店でカンパイ!日々の健闘を称えあい、毒を吐きあい、笑い合い、活力を取り戻しました。女子の皆さま、次回の企画もお楽しみに!

話した笑ったら5時間

3/3

ユーコーコミュニティ事件で記者会見

社員たちに対するスラップ訴訟を止めろ!



左からA組合員、日和田委員長、川本書記次長。厚労省記者クラブで

社内でハラスメントを訴えたAさんに対して、4件もの損害賠償裁判を起こしたユーコーコミュニティ(1件はユニオンに対する賠償請求)。4件の裁判の判決が出そろう(最初の事件は最高裁への理由書を提出せず却下・確定)、被害者の社員を会社が訴えるスラップ訴訟は許さない、とユニオンとAさんが記者会見を行いました。

この会社は、長時間労働とハラスメントで休業を余儀なくされ、労災認定された2人の女性と代理人弁護士2人に対しても、それぞれ約6000万円の損害賠償裁判を起こしています。

2/25

ユニオン全国同時アクション7名参加 最低賃金について実態調査



最低賃金は、東京都 1072円・千葉県 984円と、その差は88円です。実際の求人はどうなっているか新小岩駅(東京都葛飾区)と本八幡駅(千葉県市川市)の駅周辺の商店街を歩き、バイト求人募集の張り紙をみて時給額の調査を行いました。昨年と比べ格段に求人募集が増えており、現場の人手不足を実感しました。サンプルも数多くとれました。東京と千葉の格差について、これから細かく分析します。

街頭で叫び続けて12年 願いは一つ「脱原発！」

3月11日、横浜駅西口で17名が情宣活動。ビラには、組合員から寄せられた「脱原発への想い」を載せました。4月11日は17時～関内駅頭(スタジアム側)で行います。



2023.03.11

ちの未来を壊す事。再稼働の費用で電気代は上がる。原発は核武装になることも忘れないで。あの日を無かった事にするよ。うな今の政府にもっと怒りを！私たちが福島を忘れない！

Eさん／国は脱炭素社会と電力の安定供給の名目で原発を活用すると言っている。東日本大震災での事故を忘れたのだろうか。そしてウクライナの紛争を見れば、原発は最大のリスクではないか。

Fさん／「国策民営」で建設・運営してきた日本の原発政策はもはや限界だ。新たな「原発廃炉法」を作り、電力事業者から原発事業を国に移管させ、二元的に廃炉推進、核廃棄物処理、汚染水処理や廃炉技術の研究体制を創設すべきだ。

Gさん／原発の寿命延長に関する法制度の見直しを原子力規制委員会が了承した。安全性よりも政策上の判断に委ねること

Dさん／原発が止まった期間を運転期間から差し引き、実質的に60年を超え

Bさん／処理できないものを増やす事は子供た

Aさん／2月16日、福島県沖のスズキから、県漁連の出荷基準である50ベクトルを超える放射線セシウムが検出された。スズキは海と川を回遊するため、未除染の葉や藻を食べた魚を食べたスズキともいえるが、漁連の苦しみは続く。

に。日経新聞ですら、「原子力の規制は透明な議論を」と社説で、疑問を投げかけた。原子力との科学的政治的闘いは続く。

Hさん／「トリチウム水は薄めて流すと、安全」と言うが、うそ！除去すべきとされるストロンチウム90、ヨウ素129、ルテチウム106、テクネチウム99、プルトニウム等が基準値を越えて残留しているという。グリーンピースも警鐘を鳴らしている。流しちゃダメ！

Iさん／菅原文太の名言。「政治の役割はふたつあります。一つは、国民を飢えさせないこと、安全な食べ物をたべさせること。もう一つは、これが最も大事です。絶対に戦争をしないこと！」

Jさん／国策で始めた原発で被災者が発生、国に責任が無いと判決を書く裁判官は変です。住民の生活・暮らしを守る立場の地方自治体が国に対して抗議しない？被災者の

生活・暮らしを守らない処に私達は住んでいる。

Kさん／原子炉研究者や技術者、廃炉作業に従事する労働者は直接雇用し、健康診断や社会保障制度など原発にかかわる労働を安心・安定した職場環境にすることに政治・政策の舵を切るべきと思う。

Lさん／毎月11日の脱原発ビラまきは、まだまだ終われないですね！続けに行きますよ！

今後の主なスケジュール

- 3/17 ④神奈川春闘決起集会 ▼ 18:00 Lプラザ 3F
- 3/20 ⑤飯舘村東電裁判 ▼ 16:00 東京高裁 809号
- 3/21 ⑥さよなら原発全国集会 ▼ 13:00 渋谷八千公前集合
- 3/28 ⑦組合員Aさん9年ぶり職場復帰記者会見 ▼ 14:00
- 4/07 ⑧執行委員会 ▼ 18:30 オフィス 303
- 4/08 ⑨お花見 ▼ 11:00 JR 鶴見駅構内コンビニ前集合
- 4/11 ⑩脱原発ビラまき ▼ 17:00 JR 関内駅スタジアム側

リレーエッセイ 私とユニオン

⑪ Kさん

障害者福祉に関わる公的施設に勤めています。ユニオンは私にとってお守りのような存在です。当時の上司からパワハラを受け困っていた時、手話通訳の方からユニオンのことを伺い、仕事を続けるために入りました。女性が外で働くことが当たり前となっても、まだまだ組織は男性優位。内閣府男女共同参画局は「社会のあらゆる分野において2020年までに指導的地位に女性が占める割合が30%程度になるよう期待する」という目標を定めていますが、すでに2023年。女性は男性のサブとして生きるわけではありません。ポジティブ・アクションも、流行りのTVドラマ「大奥」のように、男女が入れ替わった組織を想像してみるとわかりやすいかもしれません。